

令和 7 年度

第 1 回 学校運営協議会

令和 7 年 6 月 26 日（木） 15:30～16:30

岩手県立北桜高等学校

学校運営協議会 次第

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 委員及び役員の承認
- 5 協議及び報告
 - (1) 学校運営に関する基本方針の承認
 - (2) 令和7年度高等学校等デジタル人材育成支援事業（高校DX加速化推進事業）について
 - (3) 「地域みらい留学」及び令和8年度岩手県立高等学校入学者選抜「いわて留学（県外募集）」について
 - (4) その他
- 6 学校運営協議会開催計画について
 - (1) 第1回学校運営協議会 令和7年6月26日（木）
 - (2) 第2回学校運営協議会 令和8年2月3（火）or 4日（水）
- 7 その他
- 8 閉会

学校運営協議会委員及び役員

R7.6.26

委員及び役員

No.	名前	ふりがな	所属	役職
1	一 守 大 潤	いちもり まさひろ	一守書店店長	会長
2	五十嵐 智	いがらし さとし	一戸中学校長	副会長
3	中 田 勇 司	なかた ゆうじ	社会福祉法人いつつ星会理事長	委員
4	長 畑 宏 範	ながはた ひろのり	二戸市教育委員会事務局教育部副部長兼企画課長	委員
5	古 舘 晶	ふるだて あきら	二戸市産業振興部商工観光流通課課長	委員
6	佐 藤 さおり	さとう さおり	県北広域振興局二戸地域振興センター地域振興課長	委員
代理	坂 本 透 信	さかもと よしのぶ	県北広域振興局二戸地域振興センター地域振興課主査	委員
7	小 寺 学	こでら まなぶ	一戸町産業部商工観光課	委員
8	見 澤 善 子	みさわ よしこ	生徒保護者	委員
9	金田一 淳 子	きんだいち あつこ	生徒保護者	委員
10	山 影 稔 男	やまかげ としお	北桜高校校長	委員

北桜高校職員

No.	名前	ふりがな	所属	職名
1	岩 澤 利 治	いわさわ としはる	工業校舎	副校長
2	柴 田 護	しばた まもる	総合校舎	
3	藤 田 修	ふじた おさむ	北桜高校	事務長
4	早 川 真	はやかわ まこと	工業校舎	総務主任
5	細 川 都也子	ほそかわ つやこ	総合校舎	
6	坂 川 章 浩	さかがわ あきひろ	工業校舎	教務主任
7	去 石 淳	さりいし まこと	総合校舎	
8	佐 藤 永 一	さとう えいいち	工業校舎	進路指導主事
9	岩 間 裕	いわま ゆたか	総合校舎	
10	細 川 健 治	ほそかわ けんじ	工業校舎	生徒指導主事
11	田 表 孝 史	たおもて たかし	総合校舎	
12	大 矢 晃 子	おおや あきこ	総合校舎	総合学科推進課主任
13	小 原 彰 久	おばら あきひさ	工業校舎	保健厚生主事
14	横 田 朗 子	よこた あきこ	総合校舎	
15	佐 京 和 美	さきょう かずみ	工業校舎	機械システム科長
16	佐々木 正 勝	ささき まさかつ	工業校舎	電気情報システム科長



岩手県立北桜高等学校

工業校舎：岩手県二戸市石切所字火行塚2-1
総合校舎：岩手県二戸郡一戸町一戸蒔前60-1

※令和7年度「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)プロフェッショナル型」へ採択が決定しました。今後も、自治体や北桜高校CTA(Company Teacher Association)をはじめとした魅力化パートナーと共に、魅力的な学校づくりを進めていきます。

【校訓】

誠
実

進
取

創
造

【学校の特徴】

工業科と総合学科を併設し、専門的な学びと幅広い教養を身につけられる環境を提供し、地域と連携した実践的な学習活動を重視しています。

【教育目標】

- ・まごころを持ち人を敬い信頼を築く力を育む。
- ・主体的に考え仲間と協力して挑戦する力を育む。
- ・地域と連携し新しい価値を共に生み出す力を育む。

工業科（工業校舎）

機械、電気、電子、情報の学びを活かし、地域社会に貢献できる力を育成します。社会人・職業人としてのキャリアアップと、資格取得や検定合格に向けた学習を行います。

総合学科（総合校舎）

人文・自然系列、情報ビジネス系列、介護・福祉系列、生活・文化系列の学びを活かし、地域社会に貢献できる力を育成します。多様な選択科目から自分の適性や進路に合わせて主体的に科目選択ができます。

三つの方針（スクール・ポリシー）

グラデュエーション・ポリシー

このような力を育てます！

- ・持続可能な社会の実現に向け、自ら課題を見出し、他者と協働して課題解決する力
- ・社会人として必要な資質や、望ましい職業観・勤労観を身に付け、希望する進路を実現する力
- ・他者を尊重し思いやる心の醸成、より良い人間関係を構築できる力

【工業科】

機械、電気、電子、情報の学びを活かし、地域社会に貢献できる力

【総合学科】

人文・自然系列、情報ビジネス系列、介護・福祉系列、生活・文化系列の学びを活かし、地域社会に貢献できる力

カリキュラム・ポリシー

このような教育活動を行います！

- ・地域等と連携した「課題研究」・「総合的な探究の時間」などの主体的・協働的・探究的な学習
- ・工業科と総合学科に関する学びを深め、連携を図る活動
- ・外部講師による講話会や実技講習会等で望ましい職業観・勤労観を育成
- ・いわての復興教育に基づく、地域の未来を創造する学習

【工業科】

- ・工業の専門的知識と技能・技術を身に付ける学習
- ・社会人・職業人としてのキャリアアップと、資格取得や検定合格に向けた学習

【総合学科】

- ・「産業社会と人間」とおとして、人と経済社会との関わりを理解する学習
- ・多様な興味・関心に対応した、4系列6コースによる少人数学習

アドミッション・ポリシー

このような生徒を待っています！

- ・本校の教育目標や校訓の実現に向けて努力する意欲のある生徒
- ・基本的生活習慣が身に付いており、学校生活のルールを守る生徒
- ・将来の夢や目標の実現に向けて、何事にも粘り強く取り組める生徒
- ・様々な活動に興味・関心を持ち、積極的に行動できる生徒

【工業科】

- ・機械システム科、電気情報システム科において、専門的な学習をとおして、地域社会に貢献する意欲を持っている生徒
- ・向学心が高く、資格取得に積極的に挑戦する生徒

【総合学科】

- ・地域の魅力を発見・発信し地域を盛り上げたい生徒
- ・SDGs行動や、世界遺産を発展させたい生徒

【校長説明資料】

令和7年度 岩手県立北桜高等学校経営計画

1 校訓・教育目標		【校訓】「誠実」「進取」「創造」 【教育目標】 まごころを持ち人を敬い信頼を築く力を育む 主体的に考え仲間と協力して挑戦する力を育む 地域と連携し新しい価値を共に生み出す力を育む
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	【工業科・総合学科】 (1) 持続可能な社会の実現に向け、自ら課題を見出し、他者と協働して課題解決する力 (2) 社会人として必要な資質や、望ましい職業観・勤労観を身に付け、希望する進路(進学・就職)を実現する力 (3) 他者を尊重し思いやる心の醸成、より良い人間関係を構築できる力 (工業科) ・機械、電気、電子、情報の学びを活かし、地域社会に貢献できる力 (総合学科) ・人文・自然系列、情報ビジネス系列、介護・福祉系列、生活・文化系列の学びを活かし、地域社会に貢献できる力
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	【工業科・総合学科】 (1) 地域等と連携した「課題研究」・「総合的な探究の時間」などの教育活動をととして、主体的・協働的・探究的な学習の展開 (2) 工業科と総合学科に関する学びを深めるとともに、学びの連携を図る活動 (3) 外部講師による講話会や実技講習会等を積極的に取り入れ、望ましい職業観・勤労観を育成する学習 (4) いわての復興教育(いきる・かかわる・そなえる)に基づき、地域の未来を創造する学習 (工業科) ・工業の専門的知識と技能・技術を身に付ける学習 ・社会人・職業人としてのキャリアアップと、資格取得や検定合格に向けた学習 (総合学科) ・「産業社会と人間」をととして、人と経済社会との関わりを理解する学習 ・多様な興味・関心に対応した、4系列6コースによる少人数学習
	(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	【工業科・総合学科】 (1) 工業科や総合学科の各系列の分野に関心があり、その教育内容や学習活動に魅力を感じ将来の進路選択(進学・就職)につなげたい生徒 (2) 他者と協働、自分を広げ、独自性を追求したい生徒 (3) 生徒会や部活動、地域貢献活動に積極的に取り組む意欲がある生徒 (工業科) ・機械システム科、電気情報システム科において、専門的な学習をととして、地域社会に貢献する意欲を持っている生徒 ・向学心が高く、資格取得に積極的に挑戦する生徒 (総合学科) ・地域の魅力を発見・発信し、地域を盛り上げたい生徒 ・SDGs行動や、世界遺産を発展させたい生徒

(様式1)【高等学校用】

3 魅力化協働パートナー		C T A (北桜高等学校地域産業教育連携協議会) 県内大学、地域産業界、中学校、保護者、 地元自治体および教育委員会 (二戸市、一戸町)	
4 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 授業の充実～理解を深め、意欲を高める授業の展開～	・ 学習の目標が明確で、工夫された学習活動が行われ、分かりやすい授業が行われている 【生徒学校評価 85%以上】
		イ 生徒指導の充実といじめの未然防止・適切な対処	・ 体罰、いじめ、トラブル等に対し、適切に対応している 【生徒学校評価 85%以上】
		ウ キャリア教育の充実	・ 職業理解や進路指導など、キャリア教育が充実している 【生徒学校評価 85%以上】
		エ PTA、地域との協働による教育活動の推進	・ 地域との協働による教育活動を行っている 【保護者学校評価 85%以上】
		オ 健康の維持増進に係る活動の徹底と教育の推進	・ 生徒の健康や安全・衛生面について適切に対応している。 【生徒学校評価 85%以上】
		カ 不適切な指導の根絶	・ 校内コンプライアンス研修で、職員が発表する 【発表する職員の割合 100%】
		キ 働き方改革の推進	・ 本校での教育活動にやりがいを感じる 【職員学校評価 85%以上】
	(2) 取組方針	ア 授業の充実～理解を深め、意欲を高める授業の展開～ (ア) 授業改善のための不断の研修 (自己研修を含む) の推進 (イ) ICT を活用した授業の実施と学習指導方法の検討	
		イ 生徒指導の充実といじめの未然防止・適切な対処 (ア) 生徒と向き合う時間の確保とこまめな面談による信頼関係の構築 (イ) 「いじめ防止対策推進法」「学校いじめ防止基本方針」に則して取り組むとともにその改善を図る (ウ) 日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知、適切な初期対応	
		ウ キャリア教育の充実 (ア) 社会を担う人材としての知識・技術の習得 (イ) いわて高校魅力化・ふるさと創成推進事業等を活用した地域産業の周知と産業人材の育成	
		エ PTA、地域との協働による教育活動の推進 (ア) 保護者と連携した生徒の健全育成 (イ) 生徒のボランティア活動への参加を奨励 (ウ) 学校運営協議会と連携・協働した、学校特色化・魅力化の推進	
		オ 健康の維持増進に係る活動の徹底と教育の推進 (ア) 定期健康診断後の指導の充実による生徒の健康維持 (イ) 健やかな心身を育む健康・安全指導の充実	
		カ 不適切な指導の根絶 (ア) 生徒を個人として尊重した指導の実施 (イ) 感情的及び価値観の押し付けによる指導の根絶	
		キ 働き方改革の推進 (ア) 目標の共有と学校課題への組織的かつ計画的な取り組み (イ) 教職員の健康管理と業務改善	



岩手県立北桜高等学校

校訓「誠実」「進取」「創造」

誠実

まごころを持ち人を敬い

信頼を築く力を育む

進取

主体的に考え仲間と協力して

挑戦する力を育む

創造

地域と連携し新しい価値を

共に生み出す力を育む

令和6年4月開校

一戸高等学校

福岡工業高等学校

県立北桜高等学校

総合校舎
(旧一戸)

総合学科 3 学級

工業校舎
(旧福岡工業)

機械システム科
電気情報システム科

3 学科 5 学級 定員 200 名



進路・資格取得について

【総合校舎】

令和6年度の3年生進路先 ①

【就職】

学科	在籍	就職(24名内定/74名)32.4%			
		二戸管内	県内	県外	公務員
総合学科	74名	9名	9名	3名	3名

【就職先】

(株)オノデラサイン、(株)菅文、(株)小松製菓、(株)座敷わらし、(株)十文字チキンカンパニー、(株)ツガワ二戸工場、社会福祉法人慈孝会、社会福祉法人麗沢会、日本郵便(株)東北支社、雄勝セラミックス(株)北上事業所、(株)アサヒセキュリティ、キオクシア岩手(株)、TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)北上工場、盛岡セイコー工業(株)、盛岡ターミナルビル(株)、(株)東北フジパン仙台工場、(株)トラジ、日清オイリオグループ(株)横浜磯子事業場

【公務員】

岩手県職員、二戸市職員、二戸地区広域行政事務組合(消防)

【総合校舎】

令和6年度の3年生進路先 ②

【進学】

学科	在籍	進学(47名合格/74名)63.5%		
		大学	短大高専	専門学校等
総合学科	74名	13名	2名	32名

【進学先】

岩手県立大学、盛岡大学、仙台青葉学院大学、東北学院大学、八戸学院大学、京都精華大学、文京学院大学、盛岡大学短期大学部、岩手県立二戸高等看護学院、岩手リハビリテーション学院、岩手県立産業技術短期大学校、岩手医科大学医療専門学校、上野法律ビジネス専門学校、MCL盛岡医療大学校、大原ビジネス公務員専門学校、北日本医療福祉専門学校、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ、北日本ヘア・スタイリストカレッジ、MCL菜園調理師専門学校、MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校、盛岡ヘアメイク専門学校、KADOKAWAアニメ声優アカデミー大学部、仙台ウェディングブライダル専門学校、仙台こども専門学校、専門学校デジタルアーツ、東北電子専門学校、レコールバンタン東京校

【工業校舎】

令和6年度の3年生進路先 ①

【就職】

学科	在籍	就職(47名内定/59名)79.4%			
		二戸管内	県内	県外	公務員
機械システム科	28名	8名	11名	5名	0名
電気情報システム科	31名	3名	8名	13名	0名
合計	59名	11名	18名	18名	0名

【就職先について(R6以前も含む)】

SWS東日本㈱二戸工場、㈱ツガワ二戸工場、二戸時計工業㈱、㈱十文字チキンカンパニーバイオマス発電所、㈱アイオー精密、キオクシア岩手㈱、TDKエレクトロニクスファクトリー㈱北上工場、ALSOK岩手㈱、㈱カガヤ、JR東日本㈱、東北電力㈱、㈱東北電気保安協会、日本製鉄㈱、三菱電機ビルソリューションズ㈱、㈱ユアテック など

【工業校舎】

令和6年度の3年生進路先 ②

【進学】

学科	在籍	進学(12名合格/56名)20.3%		
		大学	短大高専	専門学校等
機械システム科	28名	1名	0名	3名
電気情報システム科	31名	3名	0名	5名
合計	59名	4名	0名	8名

【進学先について(R6以前も含む)】

岩手県立大学ソフトウェア情報学部、岩手県産業技術短期大学、八戸工業大学、東北工業大学、東北芸術工科大学、神奈川工科大学、岩手県立二戸高等技術専門校、北上コンピューターアカデミー、日本工学院八王子専門学校 など

【工業校舎】

第一・二種電気工事士、2級電気工事施工技術検定、乙種4類危険物取扱者、技能検定普通旋盤作業2・3級 等

令和6年度ジュニアマイスター顕彰

特別表彰	2名
ゴールド	11名
シルバー	8名
ブロンズ	7名



令和3年度には経済産業大臣賞を受賞（全国で1名）



令和7年 「DXハイスクール」に決定！



【総合学科】データの利活用で学びと社会をシームレスに

【環境整備】＜現場で活用されるアプリでデータ利活用を学ぶ環境づくり＞

- ・介護記録アプリ（Notice）と床走行式介護リフトの導入
- ・民間企業による情報Ⅱ等の内容及びデータサイエンス講座の実施



【生徒の体験】＜データサイエンスの学習による探究の深化＞

- ・介護利用者データ利活用により課題をデジタル技術で解決する能力を育成
- ・介護データをデータサイエンスの観点から紐解き思考法や分析力を養う



「DXハイスクール」に決定！

【工業科】技術と「ファブ」で地域のSTEAM教育の拠点に

【環境整備】＜次世代EVと「ファブスペース」で地域との共創環境づくり＞

- ・産学連携の次世代電気自動車（EV:PIUS）教育プログラムを導入
- ・ファブスペースとして高機能3DプリンタやNC工作機械を企業が校内で活用

【生徒の体験】＜学校と企業がシームレスにつながる産学官連携の学び＞

- ・外部講師によるEV新技術や次世代モビリティシステムの知識・技術の習得
- ・ファブスペースを活用した企業連携により最先端の技術を実習等で体験



「DXハイスクール」に決定！

北桜高校CTA（Company-Teacher Association）

二戸地域（二戸市、軽米町、九戸村及び一戸町）の事業者及び産業との連携を密にし、学校に対する支援やその他の事業を行う。
地域産業の将来を担う職業人の育成に資する目的で設立した組織。

各種資格・各種
検定料の補助

就業体験支援

講演会・パネル
ディスカッション

事業所・企業等か
らの講師等派遣

企業個別説明会

などを実施



6月19日企業説明会を実施。

北桜高校における学び



総合校舎

将来の進路希望に合わせて学習内容を選択できる

- 人文・自然系列
- 生活・文化系列[家庭・農業・芸術]
- 情報ビジネス系列
- 介護・福祉系列



募集定員 総合学科

120名 2年次になるときに、4つの系列から選びます

総合校舎

普通科に近い

人文・自然系列

文系、理系などの基礎的な科目からその応用まで、思考や技術を体系的に学び、知識や思考力を高める

- ▶ 進学(4年制大学・短大、看護・医療系専門学校等)・公務員を目指す学び
- ▶ 課題研究(「一戸町の持続可能な観光を考える」「のへことばの保存と継承」等)

- 【取得できる主な検定・資格】
- 実用英語技能検定
 - 日本漢字能力検定

教科の学習
(基礎～応用)

強い 探究活動
(地域課題解決)

知識
思考力

進学
4年制大学
短期大学
医療系専門
公務員

総合校舎

生活・文化系列

家庭、農業、芸術(音楽・美術・書道)から希望分野を選び、専門分野の実習を伴う学び、自然環境や文化に触れ、感性と技術を磨き心豊かな生活の創造力を養う

- 家庭** 家庭に関する知識や技術を学び、健康で豊かな家庭生活をデザインする
創造力や実践力を身に付ける
▶ ファッション造形基礎、フードデザイン、保育実践、住生活デザイン等
▶ 課題研究(「たかきびパンづくりと地域交流」「一戸南小学校御所野通路ガイド活動応援プロジェクト」等)
- 農業** 野菜や草花などの栽培技術や活用を実践的に学び、専門性を高める
▶ 農業と環境、野菜、草花、地域資源活用、生物活用等
▶ 課題研究(「ウルの苗木生産技術向上に関する研究」等)
- 芸術** 「音楽」「美術」「書道」から選択し、実践的授業でその技術と芸術性を学ぶ
▶ 素描絵画、クラフトデザイン、演奏法、保育と音楽、生活の書、硬筆等
▶ 課題研究(「校内ラジオ番組で学校を活性化」「美術の力で鳥越竹細工をPR」「書」の作品で一戸町を笑顔に」等)

- 【取得できる主な検定・資格】
- 被服製作技術検定
 - 食物調理技術検定
 - 保育技術検定
 - 消費者力検定
 - 日本農業技術検定
 - 危険物取扱者
 - アーク溶接技能講習
 - 硬筆検定
 - 色彩検定
 - 保育技術検定

家庭
被服、食物、保育

農業
野菜、草花

芸術
音楽、美術、書道



総合校舎 **商業**

情報ビジネス系列

簿記会計や情報処理などビジネスに必要な知識と技術を学び、実習などで専門性を高める

【取得できる主な検定・資格】

- ▶ ビジネス基礎、簿記、財務会計士、マーケティング、情報処理、ビジネス情報等
- ▶ 課題研究（「一戸町の魅力を伝える」等）
- 簿記実務検定 ● 情報処理検定 ● 商業経済検定
- ビジネス文書実務検定 ● ビジネス計算実務検定

知識・技術

ビジネス基礎
簿記
情報処理
マーケティング
グローバル経済
ソフトウェア活用

活用

実際のビジネスの場面を想定した実習により、知識・技術の専門性を高める

将来

地域社会をビジネスの面から支える人材として活躍する

専門性を高めての進学も可能です



総合校舎 **福祉**

介護・福祉系列

福祉や介護に関わる知識や技術を学び、健康で豊かな生活の創造力を高める

【取得できる主な検定・資格】

- ▶ 社会福祉基礎、生活支援技術、こころとからだの理解等
- ▶ 課題研究（「一戸高校介護・福祉系列が地域のためにできること」等）
- ▶ 「介護福祉士実務者研修」資格取得
- 介護福祉士実務者研修修了

介護福祉士実務者研修（450時間）実施校

介護福祉士（国家試験）受験資格

実務経験（3年間）＋ 実務者研修（450時間）

卒業後、介護職員として3年間の実務経験により、介護福祉士（国家試験）を受験可能



工業校舎

「機械系」と「電気系」の2つの学科があります

○ 機械システム科

○ 電気情報システム科

工業校舎

学科	機械システム科	電気情報システム科
募集定員	40名	40名

機械システム科

実習風景等




機械システム科

実習風景等



機械システム科

実習風景等



機械システム科

実習風景等



電気情報システム科

実習風景等



電気情報システム科

実習風景等

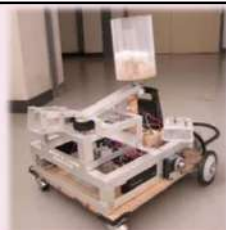


東北大会優勝！全国大会敢闘賞！

電気情報システム科
実習風景等

電気情報システム科

実習風景等



【北桜高校webページ】中学生向けの情報も掲載しています

咲くも無心、散るも無心、花は嘆かず今を生きる



【北桜高校note】学校の出来事等が掲載しています

重プ

岩手県立北桜高等学校
(公立・総合学科(介護福祉系列)、
工業科(機械システム科・電気情報システム科))

地域とつながり課題を発見・解決するデジタル人材の育成

取組

重プ

【総合学科】データの利活用で学びと社会をシームレスに

【工業科】技術と「ファブ」で地域のSTEAM教育の拠点に

【環境整備】＜現場で活用されるアプリでデータ利活用を学ぶ環境づくり＞

【環境整備】＜次世代EVと「ファブスペース」で地域との共創環境づくり＞

～介護アプリとデータサイエンス講座の学びを連動した人材育成～

～次世代EVと校内ファブスペースの学びを連動した人材育成～

- ・介護記録アプリ（Notice）と床走行式介護リフトの導入
- ・民間企業による情報Ⅱ等の内容及びデータサイエンス講座の実施

- ・産学連携の次世代電気自動車（EV:PIUS）教育プログラムを導入
- ・ファブスペースとして高機能3DプリンタやNC工作機械を企業が校内で活用

【生徒の体験】＜データサイエンスの学習による探究の深化＞

【生徒の体験】＜学校と企業がシームレスにつながる産学官連携の学び＞

～デジタル技術で介護福祉分野における探究活動を支援～

～高等専門学校及び関係企業によるデジタル人材育成支援～

- ・介護利用者データ利活用により課題をデジタル技術で解決する能力を育成
- ・介護データをデータサイエンスの観点から紐解き思考法や分析力を養う

- ・外部講師によるEV新技術や次世代モビリティシステムの知識・技術の習得
- ・ファブスペースを活用した企業連携により最先端の技術を実習等で体験

将来的に
学びを連動

【総合学科・工業科】北桜高校CTA(Company-Teacher Association)による産学官の協働・連携

地域のデジタル人材の育成を目標の一つとして設立された北桜高校CTAとの連携・協働により、地元の産業・サービスを担うデジタル人材の育成を図る。

- ・デジタル人材を育成するCTAの活動と企業ニーズ、学校の教育活動の相互理解



【企業】令和6年度20 ⇒ 令和9年度40
【自治体】令和6年度1 ⇒ 令和9年度2
【学校】令和6年度1 ⇒ 令和9年度3



- ・企業及び高等専門学校など外部人材の学校教育への積極的な参画と連携協働

【総合学科・工業科】教員向け総合学科・工業科等各教科で活用できるAI・データサイエンス研修の充実

民間企業の研修に総合・工業の教員が複数名参加し、生成AIをはじめとするデジタル技術についての理解を深め、各教科の授業において活用する。

- ・教員が民間企業主催の教員向け生成AIの研修に参加し知識とAIリテラシーの向上



【教員研修】令和6年度0 ⇒ 令和9年度3
【授業改善】令和6年度5 ⇒ 令和9年度20



- ・デジタル人材育成に向け教員研修の成果を各教科の授業改善にチームで支援

育成する生徒像・取組による効果

「持続可能な社会の実現に向け自ら課題を見出し、他者と協働し課題解決する力の育成」を目指して

【総合学科】利用者データの利活用を学ぶことで介護技術の専門性を高め、デジタル技術を活用した知識やスキルを有する人材を育成する。

【工業科】EVやファブスペース等により、学校生活で次世代モビリティや企業のICTやDXに触れる環境で学ぶことで、地域課題を解決するデジタル人材を育成する。



情報Ⅱの内容を含むことにより指導内容を充実させた職業系の教科・科目の履修率（令和6年度15%、令和9年度目標値100%）
介護福祉系、医療保健福祉系及びIT、ソフトウェア学部などへの進学率の増加（令和6年度(IT系)3.8%、令和9年度目標値10%）

具体的な取組① 【総合学科】 地域とつながり課題を発見・解決するデジタル人材の育成

【総合学科】データの利活用で学びと社会をシームレスに

【環境整備】＜現場で活用されるアプリでデータ利活用を学ぶ環境づくり＞

- ・介護記録アプリ（Notice）と床走行式介護リフトの導入
- ・民間企業による情報Ⅱ等の内容及びデータサイエンス講座の実施

【生徒の体験】＜データサイエンスの学習による探究の深化＞

- ・介護利用者データ利活用により課題をデジタル技術で解決する能力を育成
- ・介護データをデータサイエンスの観点から紐解き思考法や分析力を養う

【総合学科】北桜高校CTA(Company-Teacher Association)による産学官の協働・連携

地域のデジタル人材の育成を目標の一つとして設立された北桜高校CTAとの連携・協働により、地域の産業・サービスを担うデジタル人材の育成を図る。

【総合学科】教員向け各教科で活用できるAI・データサイエンス研修の充実

民間企業の研修に総合学科の教員が参加し、生成AIをはじめとするデジタル技術についての理解を深め、各教科の授業において活用する。

- ・ライフイズテックレッスン(情報Ⅰ 全対応コース)とデータサイエンス講座の導入により、プログラミングとデータサイエンスを含む全単元を連続したストーリーの中で学ぶ。
- ・講座等で習得した知識をもとに実際に実装する工程を踏むことで、本質的かつ実践的な問題解決力を養う。
- ・情報モラルに関する学習を実施すると共に、デジタル人材としてのテクノロジーを活用する能力を養う。
- ・介護記録アプリ「Notice」及び床走行式介護リフトにより利用者のデータを可視化し企業や関係団体と連携した学習の実施。
- ・データサイエンスの観点から介護データを分析し、既存の眠りスキャンシステム連携など更なる効率化とケアの質の向上を図る。

- ・北桜高校CTAの活動による地元企業と高校（教員・生徒）の相互理解を促進する。
- ・デジタル人材を育成する教育活動へ企業のニーズを反映させると共に、企業による教育活動への積極的な参画を促進する。
- ・地元の産業・サービスを担うデジタル人材の育成と地域への定着を図るため地域課題解決に向け企業と連携して取り組む。

- ・教員のAIリテラシー向上のため、民間企業主催の教員向け生成AIの研修（2日間）に参加する。
- ・研修の成果を各教科での学びや授業改善に活用する取り組みを校内でチームを組んで実施する。

育成する 資質能力

産学官が連携した上記の取り組み等の実践を通して、教科等横断的な知識・技術を向上すると共に、デジタルを活用した課題発見やその解決に主体的に取り組む能力を伸ばし、他者と協働しながら、地域の産業やサービスの持続的な発展に貢献できる人材としての資質・能力を育成する。



具体的な取組② 【工業科】 地域とつながり課題を発見・解決するデジタル人材の育成

【工業科】技術と「ファブ」で地域のSTEAM教育の拠点に

【環境整備】＜次世代EVと「ファブスペース」で地域との共創環境づくり＞

- ・産学連携の次世代電気自動車（EV:PIUS）教育プログラムを導入
- ・ファブスペースとして高機能3DプリンタやNC工作機械を企業が校内で活用

【生徒の体験】＜学校と企業がシームレスにつながる産学官連携の学び＞

- ・外部講師によるEV新技術や次世代モビリティシステムの知識・技術の習得
- ・ファブスペースを活用した企業連携により最先端の技術を実習等で体験

- ・産学連携の電気自動車PIUSの教育プログラムの導入により、自動車の基礎構造や次世代のEV基礎技術を実習及び外部講師の専門的な講義を通して学ぶ。
- ・PIUSを地域の小中学校への出前授業や地域のイベントで活用することで、生徒の表現力や課題解決能力を育成する。
- ・高機能3Dプリンタをはじめ、既存のNC工作機械等を校内で企業が活用できるファブスペースとして生徒と共に活用する。
- ・企業と共に最新のテクノロジーを校内で体験できる環境づくりにより、実習などの教育活動を通じた他学科と連携した連携したSTEAM教育の充実。

【工業科】北桜高校CTA(Company-Teacher Association)による産学官の協働・連携

地域のデジタル人材の育成を目標の一つとして設立された北桜高校CTAとの連携・協働により、地域の産業・サービスを担うデジタル人材の育成を図る。

- ・北桜高校CTAの活動による地元企業と高校（教員・生徒）の相互理解を促進する。
- ・デジタル人材を育成する教育活動へ企業のニーズを反映させると共に、企業による教育活動への積極的な参画を促進する。
- ・地元の産業・サービスを担うデジタル人材の育成と地域への定着を図るため地域課題解決に向け企業と連携して取り組む。

【工業科】教員向け各教科で活用できるAI・データサイエンス研修の充実

民間企業の研修に工業科の教員が参加し、生成AIをはじめとするデジタル技術についての理解を深め、各教科の授業において活用する。

- ・教員のAIリテラシー向上のため、民間企業主催の教員向け生成AIの研修（2日間）に参加する。
- ・研修の成果を各教科での学びや授業改善に活用する取り組みを校内でチームを組んで実施する。

育成する 資質能力

産学官が連携した上記の取り組み等の実践を通して、教科等横断的な知識・技術を向上すると共に、デジタルを活用した課題発見やその解決に主体的に取り組む能力を伸ばし、他者と協働しながら、地域の産業やサービスの持続的な発展に貢献できる人材としての資質・能力を育成する。



1 日時

令和7年6月26日(木) 15:30～16:30

2 会場

北桜高校総合校舎 視聴覚室

3 出席者

別紙「第1回学校運営協議会出欠一覧」を参照

4 次第

(1) 開会

(2) 校長挨拶

1年生は工業37名、総合87名の合計124名が入学した。総合校舎、工業校舎の生徒共に、地域発展のために貢献できる学校を目指していきたい。

(3) 自己紹介

(4) 委員及び役員の承認

資料のとおり承認

(5) 協議及び報告(進行 会長 一守氏)

ア 学校運営に関する基本方針の承認(山影校長)

資料2ページ～11ページのとおり承認

イ 令和7年度高等学校等デジタル人材育成支援事業(高校DX加速化推進事業)について(岩澤副校長)

資料12ページ～14ページ

ウ 「地域みらい留学」及び令和8年度岩手県立高等学校入学者選抜「いわて留学(県外募集)」について(柴田副校長)

地域みらい留学 資料1～24 いわて留学 資料1～17

質疑応答

中田氏 [意見] スポーツ大会の様子を拝見し、1つの高校になったと実感した。介護業界でもITやAIの導入は進められているが、費用の面から実際は進んでいない。高校のDX事業が進んでいることを知り、現場の遅れに危機感を感じたが、総合、工業の特長をいかした事業が展開されていくと思われる。

岩澤副校長 外部の方にどんどん高校に入っていただき、企業の方とともに活用していきたい。

(6) 学校運営協議会開催計画について

資料のとおり

(7) その他

一守氏 [意見] 事前に資料をもらえれば、先に内容がわかるので、ありがたい。

長畑氏 [意見] DXは北桜高校の大きな魅力になる。強みを生かし、子ども達が来たいと思う学校をめざしていただきたい。子どもの数は減っているなので、入学者数も減

るのはやむをえないが、その減少幅を少しでも小さくしてほしい。

坂本氏 〔意見〕 以前は久慈地区において、キャリア教育で中学校と関わってきた。現在は産業振興の立場であるが、その立場においても、地域ぐるみで教育に取り組むことはとても素晴らしいと感じる。今後もキャリア教育を支援させていただきたい。

小寺氏 〔意見〕 以前まで企業の方にとって、学校に対するハードルが高いという声があった。その声を契機に CTA を立ち上げて 2 年目となるが、企業と生徒の距離が近づき、お互いに顔を覚えてもらえるようになった。就職に関する事業は主催や所管が多岐にわたるので、高校の先生方の負担が大きいのではないかと懸念している。

柴田副校長 CTA の企業説明会は 2 回実施していただいた。1 回目は 13 社であったが、2 回目は 6 月 19 日（木）に実施し、24 社まで増えた。

中田氏 前回実施の時は、介護実習の期間と重なっていたので、ブースに来る生徒が少なかった。

三澤氏 〔意見〕 DX の内容を初めて聞いた。学校の取組をもっと多くの方に広めてほしい。

金田一氏 〔意見〕 特色を活かした取組みを、もっと発信していけばよい。

中田氏 〔意見〕 生徒数は減っていただけだと思っていたが、いわて留学制度により、県外からも呼べるのだとわかった。北桜高校でも取り組んでほしい。

（8）閉会